

※一般質問の内容は、議員自身が11月定例会議事録に基づき記述しています。



さの かずひこ
佐野 和彦
(富岳会)

物価高騰と市民生活を考える

問 電気代、燃料費など、急激な物価の上昇に対し、市民生活の一助に市として考えがあるか。

部長 今後の税収の落ち込みなど本市の財政状況をしながら、特に必要とされるところには、しっかり行き渡るように対策を講じていく。

問 市内の福祉施設から物価高騰による運営の相談があった場合、対応は考えているか。

部長 県では介護サービス事業者等物価高騰対策支援金を交付しており、市内の事業所に周知したところで、支援金の活用を促していきたい。

県道180号や富士山に係る施設の今後

問 国道139号と県道180号(登山道)の交差点に大きな鳥居や大きな金剛杖などを建て、富士山を目指すシンボルにできないか。

部長 鳥居は宗教的意味があり政教分離の観点

で、金剛杖は景観への配慮、交通安全上の問題及び用地の課題があり難しいと考える。

問 案内板の表記を変えることはできないか。

副市長 県のガイドラインを変えないとできないので、次期改定の時、確認する。

富士根北部地区、山宮地区、大岩地区及び万野地区の警察施設の設置について

問 今後、交番の再編成時、要望できないか。

部長 要望は可能。犯罪が続き心配な時は、警備強化の要望を出す。

問 地元の方の遺言でもあるので、今後も継続して警察に言い続けてほしい。

市長 市で解決できないので、県議会議員に要望を出していく。

救急医療情報キット設置のススメ

問 救急医療情報キットを採用することで、救急隊員の負担が減ると思うがいかがか。

市長 必要性、重要性は感じる。市民に知ってもらうために、広報ふじのみやに載せて、全市民、全家庭に知らせる努力をしていく。



つじむら たける
辻村 岳瑠
(育成)

7階食堂を活用した福祉的就労食堂設置の提案

問 福祉食堂の設置は、就労者の自立に結びつく。また、キャッシュレス化でマイナポイントを利用できる食堂であれば、マイナンバーカードの交付率の向上の相乗効果も期待できる。

部長 福祉食堂を行いたいという事業者があればぜひ応募していただきたい。選定の基準は職員の福利厚生に資するかどうかになる。キャッシュレス決済等のデジタル化は、事業者の選考には有効な判断材料になると考える。

未来の食生活を守る戦略「みどりの食料システム戦略」について

問 急速に増加していくことが想定される耕作放棄地について、市の具体的な施策を伺う。

部長 農業経営基盤強化促進法が令和4年5月に改正。今後の農業の在り方を地域ごとに地域

計画として策定していく予定。

問 スマートフォンによる水田の水管理システムなど未来型農業施策に対して、積極的な推進を提案するが、いかがか。

部長 当市の実情に合ったスマート農業の導入及び実証に対して、支援策の研究を進める。

意見 田んぼの多面的機能は、農業をしてくださる方のおかげである。

富士宮まつり富士宮囃子を未来に繋げる提案

問 お祭りがもつ社会課題解決能力について、市が関わりを持てる要素はあるか。

部長 令和5年度から策定予定の、文化財保存活用地域計画策定に、祭りの社会課題解決となる可能性のある活動を盛り込んでいきたい。

問 全125区に対し20区が主体になっている富士宮まつりを未来に伝承していくために、富士宮市全体のお祭りにすることを提案する。

市長 各区の判断ではあるが、お祭りに加えた人は区の了解を得て、ぜひ一緒になって楽しみましようと呼びかけていく必要はある。